

収益の前受け 《決算整理》

・収益の前受けとは、当期に受取った収益の中で、() の収益となる部分のことをいい、決算において() の収益からマイナスしなければならない。これは、適正な期間損益計算の把握のために行われる。

・《前受収益（受取利息の場合）の仕訳》

(受取利息) ××× (前受利息) ×××

・この前受分の収益は、次期以降の収益を前もって受取っていることから() の勘定となる。

・なお、仕訳の際には、「前受利息」「前受地代」など具体的に書くが、B/Sに表示する場合はまとめて() と表示する。

・また、前受収益は翌期首に() を行うことで、次期分の収益とする。

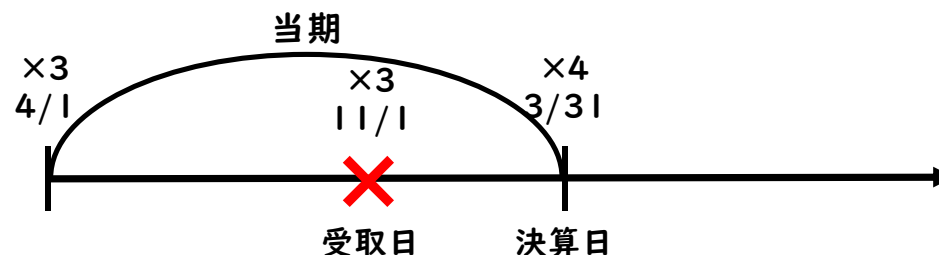
仕訳の練習問題

・下記の取引について、仕訳を行いなさい。なお、会計期間は×3年4月1日から×4年3月31日である。

1. ×3年11月1日、1年分の利息2,400円を現金で受取った。

2. ×4年3月31日、決算につき利息の前受け分を計上する。

3. ×4年4月1日、前受利息の再振替仕訳を行う。



1. () ()

2. () ()

3. () ()